



来場者の質疑に答える長友さん



活動を報告する小林さん

地域おこし協力隊活報告会

令和3年度町地域おこし協力隊活動報告会は3月17日、学びいなかで開かれ、約50人が会場を訪れたほか、オンラインで配信されました。

報告会では、前後公町長が「現在、本町では7人の隊員が観光振興や農産物のブランド化などさまざまな活動に取り組んでいます。隊員の皆さんの活動に興味をもっていただき、今後その活動を見守ってください」とあいさつを述べました。

引き続き各隊員による報告が行われ、卯月あすかさん、小林澄子さん、長友海夢さん、佐川竜二さん、橋本真由さん、戸泉綾華さん、畠中惇さんの7人がこれまでの活動や今後取り組んでいきたいことなどを発表しました。

このうち、観光・伝統工芸品等のPR促進を担当する小林澄子さんは、SNSを活用した情報発信や昨年10月に開かれた「中ノ沢こけし祭り」の様子を紹介。今後は自転車愛好家らの受け入れ整備などに取り組みしていくことなどを発表しました。



入賞の報告に訪れた選手ら



女子リレー5位入賞の(左から)六角、古内、安部、野口の各選手

女子リレー県勢最高順位に 全国中学校スキー大会入賞報告

2月に長野県で開かれた全国中学校スキー大会のクロスカンントリー・リレー競技に出場した選手らは3月7日、町役場を訪れ、前後公町長に入賞を報告しました。

4人一组で争われる本大会のリレー競技は、県選抜選手による都道府県対抗で行われ、男子が8位、女子では5位となり、女子は本県勢過去最高順位となりました。

男子リレーには、1走横澤秀哉選手(猪苗代中2年)、2走星楓斗選手(同)、3走古川晋太郎選手(東中3年)が出場。女子リレーは、1走野口愛莉選手(猪苗代中3年)、2走安部花穂選手(東中2年)、3走古内奏南選手(同)、4走六角奏虹選手(東中1年)が努め、出場メンバー男女合計8人のうち7人が本町の中学生で構成されました。

報告会では、選手を代表して野口さんが「メンバー全員が全力を出し切り、良い結果を出すことができてうれしいです」と話し、レースを振り返りました。また、報告会には、男子チーム補欠の小板橋海璃選手(猪苗代中2年)、五十嵐永遠選手(猪苗代中1年)、日出山琥斗選手(東中1年)が同行しました。

地域おこし協力隊通信



私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

卯月 あすかさん

主な活動内容：移住定住促進

早いもので、猪苗代町に来て3年が経とうとしています。移住定住促進については、これといった成果を出せずに終わってしまう残念ですが、空き家の現状確認をして資料を整理してきましたので、それが次の隊員さんの手助けとなればと思います。

コロナ禍により、都会を離れて会津地方で暮らしたいと考えている人からの問い合わせが増えていきます。移住だけでなく、最近では本拠地を持ちながらテレワークをし、マリンスポーツやウィントースポーツを楽しむ二地域居住というスタイルを取る人も増えてきています。首都圏に近く、リゾート地である猪苗代は理想的だと思います。

空き家をお持ちの人は、町の空き家台帳の登録にご協力ください。また、お気軽に相談します。すぐに不動産取り扱いはありませんが、将来町が空き家バンクを設置することになりましたら一般に情報公開できるようになり、業者仲介のもと、売買できるようにになります。

今まで私の活動を見守り、支えていただき、ありがとうございます。



犠牲者の冥福を祈って鐘を打つ参列者

震災犠牲者の冥福を祈る

東日本大震災11回忌慰霊法要

町仏教会は3月11日、亀ヶ城公園内の鐘つき堂で東日本大震災11年忌慰霊法要を執り行い、東日本大震災の犠牲者を弔うとともに震災からの復興を祈りました。

法要には、町内の各寺の住職や檀家の代表者ら約20人が参列しました。僧侶らによる読経の後、地震が発生した午後2時46分に合わせ、参列者が犠牲者の冥福と震災からの復興を祈って鐘を打ちました。

霜の被害から農産物を守る

町防霜対策本部看板掲額式

農産物を霜の被害から守るため、関係機関と連携して農家への情報提供や対策技術の指導などを行う町防霜対策本部は3月29日、町農林課内に設置され、前後公町長と会津よつば農業協同組合六角一治あいづ東部営農経済センター長が役場正面玄関に看板を掲げました。前後町長は「関係機関の皆さんには適正な指導による被害の未然防止に協力をお願いします」とあいさつを述べました。対策本部の設置期間は6月3日までです。



対策本部の看板を掲げる前後町長と六角センター長(右)